

第89回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 議事録

I. 日 時：2019年9月2日（月）13時30分～16時00分

II. 場 所：日本機械学会 第1会議室

III. 出席者：（委員19名中、出席者18名（内代理3名）、欠席者1名）

三原（東北大）、飯田英男（東電HD）、藤田（MHPS）、三好（川崎重工）、
佐藤（発電技検）、長谷川（日鉄テクノロジー）、天野（早大）、岡（富士電機）、
松田（HSB ジャパン）、福富（電中研）、桑原（関電）、澤野（日本電気協会）、
田淵（NIMS）、橋本（大口自家発電）、小原（IHI）

代理者：宮坂（東芝 ESS：木村委員代理）、本多（火原協：高木委員代理）、
飯田浩道（電源開発：長塚委員代理且つ新任候補）

欠席者：江藤（経産省）

オブザーバ：伊藤（IHI）、鈴木（MHPS）、中村（JERA）

事務局：花井

IV. 配付資料

89-1 第88回火力専門委員会議事録（案）

89-2 専門委員会・分科会委員案

89-3 第90回規格委員会議事録（案）

89-4-1 材料分科会報告

89-4-2 構造分科会報告

89-4-3 溶接分科会報告

89-5 各分科会審議履歴表

89-6 規格委員会書面投票No.436（第Ⅵ章 非破壊検査 改訂案）結果報告

89-7 火力専門委員会書面投票No.82（第Ⅱ章 材料 改訂案）結果報告

89-8 火力専門委員会書面投票No.82（第Ⅱ章 材料の改訂案）の意見対応案及び修正点

89-9 規格委員会書面投票No.427（第Ⅲ章 ボイラの改訂案）の意見対応案

89-10 発電用火力設備詳細規定（201X年版）第Ⅴ章 配管の改訂提案

89-11 規格委員会書面投票No.422（第Ⅶ章 溶接施工法・溶接技量の改訂案）による修正案の提案（書面投票No.422意見対応案及び新旧対比表を添付として含む）

89-12 火力専門委員会委員長の選任手続きについて

V. 議事

1. 前回議事録確認 [89-1]

前回議事録（案）の確認を行ない、議事録案は承認された。

2. 専門委員会、分科会の委員・役員承認 [89-2]

(1)火力専門委員会委員の推薦承認

以下の退任、新任・再任候補が報告され、出席委員全員の賛成により新任・再任候補を規格委員会に推薦することが承認された。

- ・火力専門委員会：（新任） 浅井氏（JERA）、飯田浩道氏（電源開発）
（退任） 松原委員、長塚委員（9月19日退任予定）
（再任） 飯田英男委員（副委員長）、藤田委員（幹事）
三好委員、佐藤委員、桑原委員、澤野委員

(2) 分科会委員の承認

各分科会の以下の退任、新任・再任候補が報告され、出席委員全員の賛成により承認された。

- ・材料分科会：
 - （新任） 坂本氏（関西電力）
 - （退任） 糸川委員
 - （再任） 西川委員（副主査）、吉田委員（幹事）
- ・構造分科会：
 - （新任） 坂本氏（関西電力）、松井氏（JERA）
下地氏（沖縄電力）
 - （退任） 糸川委員、濱口委員、名渡山委員、関根委員
 - （再任） 飯田委員（主査）
- ・溶接分科会：
 - （新任） 中村氏（JERA）、稲垣氏（北陸電力）、
片山氏（関西電力）、高橋氏（JERA）
 - （退任） 小林委員、虎前委員、堀委員、倉富委員
 - （再任） 逢沢委員
- ・配管減肉分科会
 - （新任） 細川氏
 - （退任） 濱口委員
 - （再任） 岩間委員

3. 報告事項

(1) 発電用設備規格委員会報告

[89-3]

第90回規格委員会（6/19）の議事内容のうち、火力及び規格委員会運営に関連する内容が報告された。

○火力専門委員会報告（6/3開催）

○材料専門委員会報告（6/6）開催

いずれも火力専門委員会から検討依頼を行っている Alloy263、Alloy141、発電ボイラ用 SUS 鋼管について、新材料規格化分科会より検討結果が報告された。Alloy263 に関しては規格値を作成したが、申請者が溶体化熱処理温度を下げたいとの要望があり検討中。Alloy141 は次回専門委員会に分科会案提示予定。発電ボイラ用 SUS 鋼管は依頼を受け付けたことが報告された。→なお、材料専門委員会においてもペーパーレス化を実施し、問題が無いとの議事から、今後火力専門委員会でもペーパーレス化に向けて検討・試行を行う予定であることを事務局より報告。

○発電規格の電子配信に関する検討

電子配信を実施する際の具体的な方法と価格設定について検討状況報告。

- ・従来通り、紙で購入も可能。

- ・火力用規格分だけでも購入が可能として検討されている。
- ・電子配信に伴い、従来の補遺という形での出版はなくなる可能性もあり。（規格委員会幹事会での検討用資料には『従来の4年おきの全面改訂＋各年追補版という形を改めて、全面改訂版に統一する（改訂の間隔は要検討）。』という案が検討されている）

(2) 分科会報告

1) 材料分科会報告

[89-4-1]

伊藤材料分科会主査から第94回分科会（2019.8.29）の議事内容が報告された。主な内容は以下のとおり。

- 第43回材料専門委員会(6/6)報告
- 火力専門委員会書面投票 No.82（第Ⅱ章 材料 規格委員会書面投票）の意見対応の説明と完了報告がされた。
- 上記意見対応結果を反映した修正案の確認を行った。

2) 構造分科会報告

[89-4-2]

飯田構造分科会主査から第105回分科会（2019.8.19）の議事内容が報告された。主な内容は以下のとおり。

- 規格委員会書面投票 No.427 第Ⅲ章ボイラ改訂案の意見対応案に関し、三度目の意見に対する回答案の送付を行った。また、これに関連し残っている意見の多くに関係する第三者検査員認証に関し、9月9日に機械学会において意見者との面談を行う予定であることが報告された。
- 火力専門委員会でのV章配管の改訂提案に備え、新旧対比表の最終審議を行った。

3) 溶接分科会報告

[89-4-3]

鈴木溶接分科会副主査から第84回分科会（2019.7.10）の議事内容が報告された。主な内容は以下のとおり。

- 規格委員会書面投票 No.436 第Ⅵ章非破壊検査改訂案の修正の中間報告は、賛成9票、反対0票、保留0票で意見は『意見対応案の内容が全て適切に反映されている』というもの。このまま対処すべき意見票が無ければⅥ章の規格委員会での改訂案承認作業は完了。
- 規格委員会書面投票 No.422（第Ⅶ章 溶接施工法・溶接技量の改訂案）の意見対応案確認6月13日に意見対応終了。修正点が多く、軽微とはいえ技術的修正点も含むため今後、再度火力専門委員会→規格委員会の順で書面投票を提案する。

(3) 規格委員会書面投票 No.436(6/24～7/23) 結果報告

[89-6]

- 発電用火力設備規格 第Ⅵ章 非破壊検査改訂案の規格委員会書面投票 No.436 の意見対応による修正案の規格委員会書面投票の結果が報告された。委員総数（26名）の5分の4（21名）以上となる24票の投票があり、全て賛成であったため、可決となった。

(4) 火力専門委員会書面投票 No.82(6/4～6/18) 結果報告

[89-7]

「発電用火力設備規格 詳細規定 第Ⅱ章の規格委員会書面投票 No.410 の意見対応による修正案」の承認の結果が報告された。投票数が委員の4/5以上の18票の投票があり、賛成票が17票あったが意見付き保留が1票あったため、意見対応を行う。意見対応は7月29日完了。

4. 審議事項 【順序は(2)(3)(4)(1)(5)】

(1) 火力専門委員会書面投票 No.82 (第Ⅱ章 材料の改訂案) の意見対応案及び修正点 [89-8]

- 伊藤材料分科会主査から、資料に基づき火力専門委員会書面投票 No.82 の意見対応案と修正案に関し説明があり、本修正案が編集上の修正または軽微な技術的な修正であることが出席委員全員の賛成により承認された。
- 本案が承認されたので、9月20日開催の規格委員会に第Ⅱ章 材料改正案の規格委員会書面投票非破壊検査改訂修正案の提案を行う。

(2) 規格委員会書面投票 No.427 (第Ⅲ章 ボイラ) の意見対応 [89-9]

- 飯田構造分科会主査から、資料に基づき規格委員会書面投票 No.427 の書面投票意見対応案の説明があった。意見回答を3巡行っている。かなり絞られて、残っているものの多くは No.68 に代表される製品認定制度の第三者検査員に関するものが残っている。No.68 の意見対応の説明がされた。9月9日に意見者と協議を行う予定。

(3) 発電用火力設備詳細規定 (201X 年版) 第Ⅴ章 配管の改訂提案 [89-10]

- 飯田構造分科会主査から、資料に基づき発電用火力設備規格詳細規定 (201X 年版) 第Ⅴ章 配管について改訂提案の説明があった。他章は ASME の Boiler and Pressure Vessel Code をベースにしているが、Ⅴ章だけは ASME B31.1 の Power Piping をベースにしている。また、改訂作業としてはダブルチェックとして執筆者以外にチェックする担当者を決めて文章の見直しを行っている。事務方の印刷ミスで本来あるべき目次等が資料から抜けているのと、122 項及び appendix II に関しては作業が未完の部分があり、投票までに差し替えを行う。審議の結果、出席委員全員の賛成により火力専門委員会の書面投票を行うことが承認された。準備ができ次第、火力専門委員会の書面投票を開始する。

(4) 規格委員会書面投票 No.422 (第Ⅶ章 溶接施工法・溶接技量の改訂案) による修正案の提案 [89-11]

- 鈴木溶接分科会副主査から、資料に基づき第Ⅶ章 溶接施工法・溶接技量の改訂案の規格委員会書面投票 No.422 の書面投票意見対応を反映した修正案について提案があり、本修正案の火力専門委員会の書面投票を実施することが、出席委員全員の賛成により承認された。

火力専門委員会の書面投票で承認された後、本修正案について規格委員会の書面投票実施を提案する予定。

(5) 火力専門委員会委員長の選任手続きについて [89-12]

事務局が、資料に基づき次期火力専門委員会委員長の選任手続きについて提案をおこない、提案どおりに進めることが、出席委員全員の賛成により承認された。

VI. 次回開催予定

日 時：2019 年 12 月 5 日 (木) 13:30~17:00

場 所：日本機械学会 第 1 会議室

以 上